

令和2年度第1回学校給食あり方検討会議事録

令和2年度第1回学校給食あり方検討会	
日 時	令和2年10月5日(月)15:00 ~ 16:30
場 所	教育委員会会議室
出席者	長崎市PTA連合会 濱添会長、松本副会長、大脇副会長、松尾副会長 教育委員会 小原委員、桑原委員 学校教育関係者 山田諏訪小学校長、笠原城山小学校給食主任 事務局 橋田教育長、大塚学校教育部長、前田教育総務部長、井上学校給食センター整備室長、山下健康教育課長、井下学校給食係長、中川専門官、富山指導主事、田中主事、田崎
内 容	1 「学校給食あり方検討会」委員紹介 2 学校給食あり方検討会の開催状況 3 学校給食の課題と対応 4 学校給食センターの整備について 5 学校給食センター供用開始に向けた栄養教諭等準備検討会及びワーキンググループについて
事務局	今回の議事録は、長崎市のホームページへ掲載したいと考えている。
事務局	(教育長あいさつ) 1 「学校給食あり方検討会」委員及び事務局の紹介 2 学校給食あり方検討会の開催状況 3 学校給食の課題と対応 4 学校給食センターの整備 5 学校給食センター供用開始へ向けた栄養教諭等準備検討会及びワーキンググループ (資料説明)
委員	多くの施設や設備が老朽化しているとあるが、青潮学園(野母崎小中)や高城台小などまだ新しい施設があるがその活用はどのようにするのか。また、学校給食センターの建設はなぜ4か所とはならなかったのか。1か所の学校給食センターで12,000食調理するのは難しいのではないかと。配送時間を40分で想定していると思うが、台風や大雨等の災害時の非常用配送ルートは別に考えているのか。南部学校給食センターは香焼町市有地を建設予定地としているが、香焼は9月の台風の被害が大きかったので、強風時を想定して建築を考えていただきたい。

事務局	<p>学校給食センターの建設が4か所にならなかった理由についてであるが、学校給食センターを建設するにあたっては、建設箇所を集約化した方がスケールメリットが大きく得られるため極力箇所数は少なくしたいが、本市は地形上南北の距離が長いことから配送時間40分以内をクリアするためには最低3か所が必要だと判断した。</p> <p>現在約30,000食の食数が必要となっているが、学校給食センターの調理能力は将来の児童生徒数の減少も踏まえて24,000食としている。学校給食センターができた時には4,000食不足する想定だが、ドライシステムで運用している青潮学園(野母崎小中)などの既存施設を活用し、児童生徒数の減少にあわせて学校給食センターに順次取り込んでいく。最終的には高島・池島を除くすべての小中学校の給食が学校給食センターから提供されることとなる。</p> <p>12,000食の規模について、他都市では4,000食～12,000食の学校給食センターの実績があるので、本市においても対応可能であると考えている。40分以内に配送するために、配送遅延リスクを考慮するとどうしても中部で取り扱う食数が多くなる。</p> <p>配送ルートについては、北部学校給食センターは事業者が何度も走行し、迂回ルートの分析・調査を行っているので、中部、南部についても同様に様々な可能性を検討したいと考えている。</p> <p>建設する学校給食センターは、地震、台風にも耐えられるような計画になっている。建設場所が海沿いや山の上なのでそれぞれの敷地で建設場所の自然条件に対応できるような建物を検討していきたい。</p>
事務局	<p>衛生管理の観点から新しい施設は対応できていても、全体で見ると厳しい施設が多く、安定的な供給のためにセンターを建設する。個別の課題にはそれぞれ建設を進める中で検討していきたい。</p>
委員	<p>配送ルートをいくつか検討すると思うが、実際の配送時は、随時道路交通情報をキャッチしてどのルートを通るか考えないと配送が遅れるのではないかなと思うので、検討してほしい。</p>
事務局	<p>北部では実際に配送ルートを走行し、ルートの検証を行っている。配送時は遅れることがないように対応する。</p>
委員	<p>既存の学校施設では安全衛生環境の問題があるので、学校給食センターで安全安心な給食を提供してほしい。また、学校給食センターではアレルギー対策で1人1人に対応した給食を提供できることに期待しているので、北部学校給食センターをしっかりと運営していただきたい。</p> <p>公聴会や建築審査会ではどのような意見が出たのか。</p>
事務局	<p>交通渋滞の懸念や施設から発生する臭い、従業員数などの質問があった。</p> <p>交通渋滞については従業員をマイクロバスでの送迎や車両の分散により対策を行い、臭いについても脱臭装置の設置などにより近隣に臭気が出ないように対策を行う旨説明した。</p>
委員	<p>生ごみについて、ごみ収集車が来て処理するまでの間は、冷房での温度管理をして臭いが出ないように対策をしてほしい。</p>

事務局	<p>生ごみについては施設内で管理し、臭いが出ないような対策や温度管理をするようにしている。よく問題として挙がるのは給食調理時の臭い(例えばカレーなど)であり、脱臭装置の設置や住宅側に臭いがいかないような対策をするが、完全に臭いがしないとは言いきれない。</p>
委員	<p>他都市の学校給食センターの見学に行ったが、建物の外でも中でも臭いは全くしなかった。衛生面は徹底してあるという印象がある。</p> <p>学校給食センターの新型コロナに対する対応はどのように検討しているのか。</p>
事務局	<p>学校給食センター自体がウイルスを持ち込ませないような施設になっている。新型コロナの対策について事業者を確認したところ、手洗いの徹底や調理員の家族の体調管理を行い、他都市では対策マニュアルを作成中とのことであるので、本市においても同様に運用面で対策を徹底していきたいと考えている。</p>
委員	<p>北部ではマイクロバスで従業員を送迎するとの話があったが、他の2か所についても同様に送迎にするのか。</p>
事務局	<p>豊洋台の交通状況と北部の敷地内には従業員用駐車場が確保できないことから、事業者の提案によりマイクロバスで送迎することとしているが、他の2か所は駐車場の確保ができるので、送迎は考えていない。</p>
委員	<p>既存の給食施設はどうなるのか。</p>
事務局	<p>調理器具で使用可能なものは他の給食施設での活用や売却を検討している。給食施設については、現状のままにする。</p>
委員	<p>災害があった時などの炊き出しに使えないのか。</p>
事務局	<p>調理器具は使用しないと老朽化が進んでしまい使用できなくなるので、メンテナンスが必要となり難しい。学校給食センターには災害時の炊き出しができるような機能を設置することとしている。</p>
委員	<p>現状では、行事などにより配膳の時間を早めたり、遅くしたりと変更しているが、学校給食センターになると学校への配送時間は一定になるのか。また、配送後の食器や食缶の管理はどうなるのか。配送時間が長くなると献立に偏りが出るのではないか。どの程度までアレルギー対応が可能になるのか。アレルギーの児童生徒は家庭から弁当を持参している。</p>
事務局	<p>行事の関係による食数の変更は可能であるが、配送時間の変更は難しい。献立は、本市が作成するので偏ることはない。アレルギーは鶏卵(うずら卵を含む)、牛乳、えび・かに・いか・たこ、ピーナッツ、木の実類(アーモンド、カシューナッツ、くるみ)、そばに対応する。具体的には、除去食と半年後くらいを目途に代替食を開始する。配送後の管理については、各学校に配膳員が配置され、配送された食器や食缶の受取や児童生徒が給食を教室まで配膳するための準備、補助をする。</p>

委員	配膳ができるように学校の設備は整えるのか。
事務局	運搬に支障がないよう建具等の改修を行うなど、学校ごとに必要な部分について改修を行う。
委員	宗教上の理由で食べられない食材がある児童生徒に対する対応はどうするのか。
事務局	北部学校給食センターの要求水準書には記載がなく、そのような児童生徒には、個別に相談したうえででの対応になるが、代替食の対応は難しいと思う。
委員	現在、対応している事例はあるのか。
事務局	加工品などについては、原材料を示しても宗教上問題がないとの保障がない。家庭から弁当を持参してもらっていると思う。
事務局	中部・南部の学校給食センター整備の PTA への周知方法についてご意見をうかがいたい。整備スケジュールがある程度決まってからの方が保護者の皆様が分かりやすいと思うので、スケジュールが決まり次第、周知できればと考えているがいかがか。
委員	具体的なスケジュールが決まってから周知していただければと思う。今日やこれまでの会議の中で出たような質問が出ると思うので、しっかり対応していただきたい。
事務局	地元の方と調整し始めたところなので、ある程度地元のご理解がいただければ整備に係る予算を計上できることになるので、早ければ今年度末くらいにはスケジュールが見えてくると思う。
委員	学校の先生への周知も必要だと思うが、年度末にもし開催するとなると先生の異動やPTAの入れ替わりもあるので、開催するタイミングを考えてほしい。
事務局	説明会の時期等については、相談しながら検討していきたい。
委員	計画ができ上がってしまっても変更ができない段階ではなく、要望を聞いて結果を反映できる段階での話し合いを希望する。
事務局	本日いただいたご意見を踏まえ、学校給食センターの整備計画を進めていきたい。なお、今後の「学校給食あり方検討会」は、整備状況に進捗等があった場合に、必要に応じて開催したいと考えている。